

第34回（平成29年度）

# 山崎賞授賞式

日時 平成30年2月18日(日)

午後1時30分

場所 静岡県職員会館  
(もくせい会館)

公益財団法人 山崎自然科学教育振興会

アドレス <http://yamazakizaidan.com>

# 式次第

1. 開 式
2. あいさつ 代表理事 熊野善介
3. 選考経過報告 選考委員長  
県立浜松湖東高等学校長  
鈴木真人
4. 授 賞 児童・生徒の部  
学 校 の 部  
教 員 の 部
5. 来賓祝辞 県教育委員会  
教 育 長 木苗直秀
6. 受賞の喜び ◎ 赤いおなかのすもぐり名人 ～秘密はあくび～  
浜松市立曳馬小学校 6年  
堀田智仁
7. 研究発表 ◎ たすく昆虫記 パート5  
川根本町立中川根中学校 1年  
西澤翼  
◎ 輪ゴム飛ばしにおけるホップアップの研究  
県立科学技術高等学校 2年  
船津遙紀  
山本孝也  
山海田太洋  
野 瑛 瑛 太
8. 閉 式

## ご あ い さ つ

本日ここに、第34回山崎賞授賞式を盛大に挙行できますことを心より感謝申し上げますとともに、受賞された方々に心よりお祝い申し上げます。

本振興会を設立した山崎貞一氏は、「私の夢は静岡県からノーベル賞受賞者を輩出することです。」と常々言っておられました。

この夢を実現するために、未来を担う県下の青少年の「科学の芽」を育てることを目的として、昭和58年の設立以来、自然科学分野の研究への助成事業、研究成果への顕彰事業、および科学教室や講師派遣、講演会・研修会支援などの啓発事業の三事業を実施しております。

平成29年9月に、今後5年間の教育政策の目標と主な政策群と題した第3期教育振興基本計画が出され、また、一方で昨年6月に、平成29年度の科学技術白書がまとめられました。これらの中で共通する内容が、国を挙げての「オープンイノベーション」をけん引する、「超スマート社会」を展開できる感性があり、創造性豊かな人材の育成を目指しています。まさに、皆さんのような若くて粘り強い研究ができる人々が求められています。

さて、本年度の顕彰事業としての山崎賞には、県下の小学校、中学校、高等学校等から167件のご応募をいただきました。応募いただいた研究はそれぞれすばらしい研究でしたが、選考委員の皆様による慎重な選考の結果、本年度は児童・生徒の部61件、学校の部2件、教員の部5件を顕彰することにいたしました。

これらの研究は、長期間にわたる地道な努力を積み重ねた成果によるものが多く、さらなる努力により科学の発展に寄与することが大いに期待されるものでした。

結びに、児童・生徒の研究を熱心にご指導いただきました先生方、並びに保護者の方々、日ごろ熱心に自然科学教育に取り組んでおられる学校、そして先生方、さらには、厳正で適切な選考をしていただいた本振興会選考委員の方々をはじめ、ご支援、ご協力いただきました多くの方々にお礼申し上げ、ごあいさつといたします。

平成30年2月18日

公益財団法人 山崎自然科学教育振興会

代表理事 熊野善介

## 第34回山崎賞授賞者名簿

### 児童・生徒の部

#### (1) 小学校(19件)

番号	研究主題	学校名	学年	氏名	指導者
1	氷の研究 とけかたくらべ 5	牧之原市立勝間田小学校	6	沢田 陽奈	浅岡 嘉乃
2	卵の不思議を探る	静岡大学教育学部附属 静岡小学校	5	柳田 純佳	野崎 祐宏
3	酢の研究 パート2	磐田市立磐田北小学校	6	土屋 美樹	村松 茂
4	赤いおなかのすもぐり名人 ～秘密はあくび～	浜松市立曳馬小学校	6	堀田 智仁	小笠原秀通
5	にんじんの発芽する条件	浜松市立三方原小学校	6	野口今日香	伊藤 省吾
6	アサガオの研究 ～6年間の歩み～	浜松市立北浜南小学校	6	花井清太郎	梶村 健祐
7	燃料電池車の性能 ～乾電池と燃料電池の違い～	浜松市立光明小学校	5	大多和良季	大城 朗
8	新記録をめざせ わゴムのピョン	浜松市立舞阪小学校	5	渡邊 花菜	倉橋 聖一
9	光を集める ～太陽のひみつパート3～	浜松市立新津小学校	5	石塚 寛人	渥美 裕一
10	キアゲハとチョウとガのかんさつ	浜松市立二俣小学校	4	若森 天璃	舟澤 綾子
11	アリの生態について・パート3	沼津市立金岡小学校	5	細谷 暖	首藤 英司
12	最強のパチンコを作ろうⅣ	沼津市立門池小学校	6	内村亮太郎	八柳喜一郎
13	カナヘビの研究	磐田市立豊田北部小学校	3	粟飯原愛依	板倉 信博
14	朝顔の元気な花をたくさん さかせるために	静岡市立 清水有度第二小学校	3	土屋 暁子	根本 成美
15	紙飛行機の研究	吉田町立自彊小学校	6	谷澤 源吾	河口 忠男
16	毛細管現象を利用して 水がきれいになるのか	牧之原市立地頭方小学校	6	増田 心暖	山下 浩美
17	メダカの記おく力	静岡市立西豊田小学校	4	日下部明衣	平尾 桂子
18	セミの羽化の条件をさぐる	焼津市立東益津小学校	4	平形 正樹	鈴木 豊
19	カイコガのえさの食べ方と 体の様子	静岡大学教育学部附属 静岡小学校	5	出口 由	野崎 祐宏

## (2) 中学校(17件)

番号	研究主題	学校名	学年	氏名	指導者
1	でんぷん～酵素の謎に迫る～	静岡市立東中学校	2	堀岡 舞	安原 正樹
2	科学の力で最速マシンをつくれ	静岡大学教育学部附属 浜松中学校	1	小笠原陽紀	石田 隆
3	ヒルの特異性の研究 Part 3	静岡大学教育学部附属 浜松中学校	3	河野 有彩	石田 隆
4	住宅地において 「森」が果たす役割とは	静岡大学教育学部附属 浜松中学校	3	竹内理人ほか 28名	石田 隆
5	塩トマトを作ろう ～海の水の不思議～	浜松市立新津中学校	2	石塚 理央	中村啓太郎
6	見えない光の秘密2 紫外線と赤外線の研究	浜松市立北星中学校	2	阿部 天音	中村 優也
7	蚕の研究	浜松市立蛸塚中学校	1	辻岡 佑人	神村 昌孝
8	植物の光屈性について	沼津市立愛鷹中学校	2	遠藤 広貴	亀田 真也
9	セミの生態観察5・羽化時期は 地温で決まる	静岡市立南中学校	3	白鳥 舜	藁科 彰良
10	紙の構造と強度変化に関する研究 Part2	磐田市立神明中学校	2	上川 誉斗	間瀬 彰浩
11	たすく昆虫記 パート5	川根本町立中川根中学校	1	西澤 翼	松浦 泰彦
12	宇宙朝顔は突然変異するのか 5	磐田市立福田中学校	3	寺田 千智	石井 奈月
13	土壌と菌	静岡大学教育学部附属 島田中学校	3	岩本しおり	川口 貴則
14	芳川の果まで行ってQ! 水害を防げ	県立浜松西高等学校 中等部	1	池野 陽斗	山本 巧
15	未来の乗り物リニアを作りたい Part V	沼津市立大岡中学校	1	眞辺 開	北垣 裕貴
16	朝顔を人工的に「一日顔」にする 方法V	静岡市立清水第八中学校	1	飯塚 颯	榎守 伸昭
17	DNA 抽出実験 ～5つの食材の不思議に迫る～	加藤学園暁秀中学校	1	渡邊咲来ほか 8名	小坂那緒子

### (3) 高等学校(25件)

番号	研究主題	学校名	学年	氏名	指導者
1	小田原山の植生について	県立磐田南高等学校	2	楠本 倫大 ほか5名	山村 京子
2	オオカナダモの葉緑体の動きの研究	県立浜名高等学校	1	篠原 愛佳 鈴木 美恵	芥川 昌也
3	芝生からネンジュモを撃退する方法Ⅱ	県立掛川東高等学校	2	角替 晴信 ほか6名	立石 紀子
4	口に入れても安全なシャボン玉を作る	静岡市立高等学校	3	金野ひづな 佐々木佑花	小野田 恵
5	輪ゴム飛ばしにおけるホップアップの研究	県立科学技術高等学校	2	船津 遥紀 ほか3名	谷口裕美枝
6	エタノールのゲル化についての研究	県立科学技術高等学校	2	杉山 主記 ほか3名	神谷 恭子
7	跳ね返った液体の変化～渦運動の影響～	県立浜松北高等学校	2	内山 倖太 河原崎 琉	高林 邦雄
8	屈折率勾配を持つ溶液における旋光度の研究	県立清水東高等学校	2	稲葉 晃一 ほか7名	滝 公夫
9	静岡市内七河川の絶滅危惧種ミクリの調査	県立静岡高等学校	2	高田裕汰朗 ほか6名	稲垣 聖二
10	金魚の記憶と色覚の関係性についての考察	県立焼津中央高等学校	2	鈴木瑤之亮 ほか4名	加藤 直人
11	ボルタ電池の起電力が決まる仕組みの検証	県立沼津東高等学校	2	小西 達也 ほか4名	吉田 亮祐
12	ダニエル電池の二次電池化への試み 第二報	浜松日体高等学校	2	野田 裕真 渡邊 稜太	河合 克仁
13	植物の葉序	浜松日体高等学校	2	植村 友奈 ほか2名	河合 克仁
14	BZ反応の酸化還元電位の変化と外圧の関係	県立清水東高等学校	1	近藤 樹 多々良颯太	京田 慎一
15	糖溶液中での凝固点降下度の理論値とのズレ	県立清水東高等学校	2	山下明日香 ほか2名	京田 慎一
16	ケミカルガーデンでの成長速度の違い	県立清水東高等学校	3	堀住 祐介 ほか4名	京田 慎一
17	三南トープ報告書 2017	県立三島南高等学校	2	御園生ひな ほか11名	望月真理子
18	「自走式乾電車」から「磁気浮上車」へ	県立韭山高等学校	2	望月 翔太 ほか3名	松原 龍一
19	カワトンボの系統解析	県立掛川西高等学校	2	杉山 亮太 ほか5名	鈴木 拓也
20	環境DNAによるヤリタナゴ調査法確立	県立掛川西高等学校	1	岡本 優真 ほか8名	鈴木 拓也
21	ドローンによる海岸の測量 - 緑十字機の例 -	県立磐田南高等学校	2	妹尾 梨子 ほか2名	青島 晃
22	ミミズの組織透明化	県立富岳館高等学校	3	土屋 亜美 ほか7名	杉村 正道
23	上部谷下層のシカの小白菌による種の同定	県立浜松北高等学校	2	村松辰一郎 ほか3名	辻野 兼範
24	ヤマトシジミによる佐鳴湖浄化の研究	県立浜松北高等学校	2	袴田 大晶 ほか6名	辻野 兼範
25	共生による光走性への影響 Ver. 2	学校法人静岡理工科大学 静岡北高等学校	2	新井 真優 寺川 実那	塚越 汐里

**学校の部** (2件)

**中学校**

番号	研究主題	学校名	校長氏名	代表者
1	バイオメタン聖火への挑戦	星陵中学校	坪井正明	鈴木崇司
2	外来種問題を題材とした環境教育の開発Ⅲ	学校法人静岡理科大学 静岡北中学校	廣住雅人	廣住雅人

**教員の部** (5件)

**小学校**

番号	研究主題	学校名	職名	氏名	校長氏名
1	地頭方の海とかかわり海に学ぶ	牧之原市立 地頭方小学校	教諭	山下浩美	大関裕巳
2	自然や生活との関わりが分かる 理科学習	浜松市立奥山小学校	教諭	杉山瑛一	池端利恭

**高等学校**

番号	研究主題	学校名	職名	氏名	校長氏名
1	理科実験装置のオープンソースによる開発	県立掛川西高等学校	教諭	松下保男	土井宏晃
2	「すぐにできる地学基礎の授業」事例集	県立浜松北高等学校	教諭	辻野兼範	松本直己
3	フェライトコアを用いたワイヤレス給電	県立沼津工業高等学校	教諭	萬崎清次	遠藤稔美